

# 平成29年度 北海道標茶高等学校 学校評価

学校評価の実施にあたり

評価アンケートについて

自己評価（教職員36/39・・・92.3%）

学校関係者評価（保護者、他関係者162/250・・・64.8%）

各評価項目に対して4段階で評価しています。（ ）内の数字は昨年度参考

5.0(A) 十分である    4.0(B) 概ね十分である    3.0(C) やや不十分である    2.0(D) 改善を要する  
 ◎ AB80%以上    ○ AB70～79%    △ AB60～69%    × AB59%以下

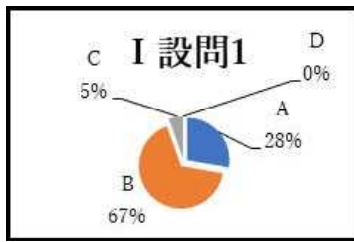
第3者評価について 「自己評価」と「関係者評価」に対して学校評議員により評価される。

A：適切である    B：ほぼ適切である    C：やや不適切である    D：不適切である

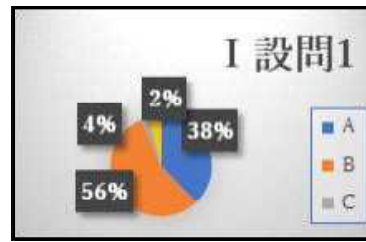
めざす学校像	めざす生徒像
1 地域の教育資源を生かし、体験に基づいた確かな学力と豊かな心を育む教育の実現 2 北海道教育を象徴する特色ある学校としての自負を抱き、総合学科の趣旨と使命を自覚した組織的・計画的な教育の実現 3 教職員間の協働意識、資質能力の向上意識を高め、地域・保護者から信頼される学校づくりの実現	1 確かな学力を身に付け、主体的で豊かな人間性を持った生徒。 2 不撓不屈の精神で挑戦し、新しい時代を拓く力を持った生徒。 3 地域の環境に学び、いのちを尊び、社会の発展に資する生徒。

1 教育目標 1 確かな学力を身に付け、主体的で豊かな人間性を持った生徒を育てる。 2 不撓不屈の精神で挑戦し、新しい時代を拓く力を持った生徒を育てる。 3 地域の環境に学び、いのちを尊び、社会の発展に資する生徒を育てる。 2 方針 1 本校の総合学科の理念を踏まえ、多様な進路実現を保障する教育環境の整備に努める。 2 学校及び地域資源を活かし、文化、環境、食を特色とした魅力ある教育課程の編成に努める。 3 学校を軸とした地域（釧路圏域）づくりを実現する高校として地域社会に評価、信頼、支援され、北海道の高校として将来を期待される教育実践に努める。 4 キャリア教育及びインタープリター教育を推進するため、教育課程全体で意図的、計画的に目標とする諸能力の育成にあたる。 5 生徒、保護者をはじめ、他者に対する相手意識を常に念頭に置き、人間関係や組織運営を円滑に進めるとともに、安全管理に努め、信頼される教育環境づくりを推進する。
---

	年度当初目標	設問No 自己評価 関係者評価	評価項目	自己評価		関係者評価	
				数値	記号	数値	記号
I 教育目標	(1)学校職員人事評価制度の活用、経営参画意識の向上 (2)教師の能力と「やる気」を引き出す組織（チーム）づくり (3)地域に広く理解される学校づくりのための新たな学習指導要領の策定	自1 関1	本校の教育目標は本校教育の使命と本校が育てる生徒像を現し、地域の皆様の要望に応えるものになっている。	4.2	○	4.3	◎
		自2	本校の教育目標の達成に当たり、現在の教育課程は地域や学校環境、生徒の実態をふまえるものとして適切である。	4.3	◎	-	-
		【記述意見等】 学校関係者 ・特に苦手科目の英語や数学はクラス分けされているので有難いです。 ・生徒総数に対して、自主退学者が多すぎる。入試の際により精査すべきではないか。 ・昨年在校生が亡くなったと聞いたときは言葉を失いました。我が子にも自ら命を絶つことだけは絶対しないでと家庭で十分話し合った。					
	【改善方策】 ・多様な生徒へは個に応じた教育内容と手法で対応できるように創造的に挑戦する。 ・本校の将来像を総合的な視点で想像し、維持発展を図る教育課程を構築する。						
	【第3者評価】	自己評価 A	取組・改善方策 A				



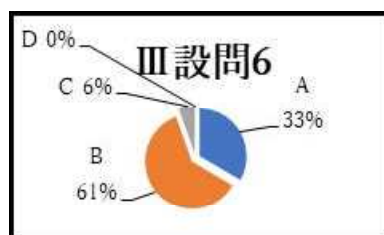
自己評価



関係者評価

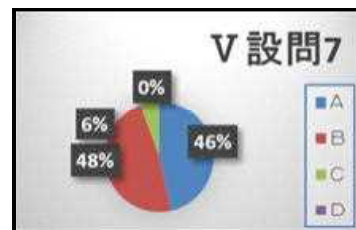
	年度当初目標	設問No	評価項目	自己評価		関係者評価											
				自己評価	関係者評価												
II 学習指導	(1) 各種の異なる校種との連携学習の推進	自 4 関 2	本校では、生徒一人ひとりにわかる授業や適切な対応を行い、生徒の伸長を図っている。	4.2	○	4.2	○										
	(2) 教科の枠を超えての道德教育や特別活動の展開と意図的で計画的な教育の充実	自 5	本校では、新たな学習指導要領を理解し、授業改善と適切な観点に沿った評価を行っている。	4.1	◎	—	—										
	(3) 各学科、教科での言語能力を育成、及び考える力やコミュニケーション能力の向上 (4) 授業時数の確実な確保と学習の質の向上 (5) 指導と評価の一体化と資質と能力の確かな向上		【記述意見等】 学校関係者 ・本人の希望で補習をしてきて、テストの結果に結びつきました。 ・体験を通して身につくことが多く、確実に成長しています。 ・生徒の不満が多い。 ・本人が分からないところを聞いても、教えてくれない先生がいると、よく困っています。(親としては全く不満がないのですが、よくそれを言っているの、すいませんが対応よろしくお願いします。)														
	【改善方策】 ・生徒の学力・学習状況の現状を把握し、課題を明確化することにより、各科目の基礎基本の定着と学習活動の推進を図る。 ・生徒の授業評価、外部からの参観・評価により一層の授業改善を図る。 ・配信課題を日常の学習に反映させるなど、自主的な取組を活性化する。																
	【第3者評価】	自己評価 B	取組・改善方策 A														
			<table border="1"> <caption>II 設問4 (自己評価)</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	22%	B	61%	C	17%	D	0%				
Category	Percentage																
A	22%																
B	61%																
C	17%																
D	0%																
			<table border="1"> <caption>II 設問2 (関係者評価)</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Percentage	A	31%	B	56%	C	11%	D	2%				
Category	Percentage																
A	31%																
B	56%																
C	11%																
D	2%																

	年度当初目標	設問No	評価項目	自己評価		関係者評価	
				自己評価	関係者評価		
III 生徒指導	(1) 特別な支援が必要な生徒の学習、生活支援体制の確立	自 6 関 3	本校では、生徒に挨拶や礼儀などの基本的な生活習慣や規範意識や社会的マナーが身につく教育が行われている。	4.3	◎	4.2	○
	(2) 社会的リテラシーの涵養	自 7 関 4	本校では、生徒の日常の様子や生徒間の人間関係など日頃から生徒観察に努め、全職員で生徒理解を深め、きめ細かい生徒指導に取り組んでいる。	4.1	◎	4.0	○
	(3) 自主性、自律性に立脚した主体性の涵養 (4) 家庭と連携しつつ基本的な生活習慣の確立		【記述意見等】 学校関係者 ・以前より大きく向上していると思います。 ・生徒間のトラブルは先生方の目の届かない所で起こっているので全てを把握するのは難しいと思います。けれど、何かあったとき親身になって対応してくれたかどうか・・・ ・先生が生徒をきちんと指導できていない。今時の高校生なのでしょうか。標高が本当に残念なくらいレベルが低い。 ・先生方の礼儀に不満がある。 ・問題があっても対応が早く、安心しています。				
	【改善方策】 ・SCやSSWを講師とした校内研修会の実施により日頃の生徒観察や相談等についての資質の向上を図る。 ・ピアサポートの基盤を確固たるものとし、生徒間のコミュニケーション課題を解決する。 ・日常的な生徒への指導の浸透性を継続的に実施する。 ・これまで同様に町の情報や教育相談の下、迅速な対応を図る。						
	【第3者評価】	自己評価 B	取組・改善方策 A				



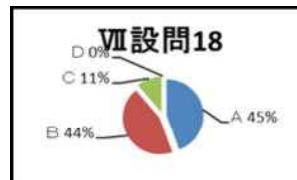
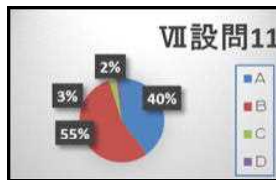
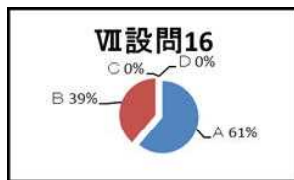
	年度当初目標	設問No	評価項目	自己評価		関係者評価																					
				自己評価	◎	◎	◎																				
IV キャリア指導	(1)キャリア教育に係る活動のコーディネート力の重視 (2)社会の変化に対応できる人材育成のための専門学科と連携したキャリア教育の充実と支援 (3)各学年に応じた各種講習会への参加推進と保護者懇談、進路相談会を充実による進路の実現	自 8 関 5	本校では、生徒に対して総合学科の特性を生かし、各個人の適性や進路希望に応じた進路指導が行われている。	4.6	◎	4.3	◎																				
		自 9 関 6	本校では、生徒や保護者に対して進路に係る資料や情報、助言を迅速、かつ適切に提供している。	4.3	◎	4.1	○																				
		【記述意見等】 学校関係者 ・進学希望者に対して模試受験を勧めて、その結果からどうしたら良いかなど具体的なアドバイス等生徒にされているのかわからない。場合によっては三者面談も必要では。 ・高校に入ってから将来のことを考え、口にするようになりました。本人が前向きに考えていること、大変嬉しく思います。今後ご指導よろしく願います。																									
【改善方策】 ・引き続き、地域との連携の中でインターンシップを遂行し、家庭、関係機関との早期連携に努める。 ・相談会やセミナーに当たっては事前と事後の指導の徹底を図る。 ・あらゆる学校生活の中で職業観を養い、教職員全体でキャリア教育に関わるよう意識改革を進める。																											
【第三者評価】 自己評価 B 取組・改善方策 B																											
		<table border="1"> <caption>IV 設問8</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		Category	Percentage	A	56%	B	44%	C	0%	D	0%			<table border="1"> <caption>IV 設問5</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>52%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>		Category	Percentage	1	40%	2	52%	3	6%	4	2%
Category	Percentage																										
A	56%																										
B	44%																										
C	0%																										
D	0%																										
Category	Percentage																										
1	40%																										
2	52%																										
3	6%																										
4	2%																										

	年度当初目標	設問No	評価項目	自己評価		関係者評価	
				自己評価	◎	◎	◎
V 寮・専門・特別活動	(1)集団生活に要するコミュニケーション能力の取得 (2)専門教育の質の向上 (3)環境美化の推進と公共のものを大切にする心の涵養 (4)部活の加入率を向上する。	自 12 関 7	本校では、施設設備を活用した専門教育が効果的に実践されている。	4.2	◎	4.4	◎
		自 13 関 8	本校では、特別活動・部活動・生徒会・農業クラブ活動等への積極的な取組を通して何事も主体的に取組む姿勢の人間力を育てており、その成果が現れている。	4.3	◎	4.3	◎
		【記述意見等】 学校関係者 ・座学以外の体験型の活動がこれからの社会人になる為にとても良い勉強になると思います。 ・部活動で先生方が全く見ていない、興味を示していないとよく聞く。 ・様々な分野での活躍は学校としての取組の成果だ思う。そのことを知らないでいる保護者も居ることが残念です。 ・部活でも成果を上げていて活躍していることは知っている。					
【改善方策】 ・生徒会や農業クラブ主導により身近な地域の清掃活動や奉仕活動を通じて健全な心を育む。 ・いじめの防止に関する基本方針を定め、校内組織として実働し、未然防止に努める。 ・学校教育のあらゆる場面で危機管理の見直し整備をすすめ、安全教育を推進する意識を持たせる。 ・救急研修、危機感ある緒訓練により、無意識に正しい行動ができるよう準備しておく。							
【第三者評価】 自己評価 A 取組・改善方策 A							



	年度当初目標	設問No	評価項目	自己評価		関係者評価																					
				数値	評価	数値	評価																				
VI 重点対応	(1)自他共に健康と環境管理に努め、生命の尊重や健康教育を推進する。	自 14 関 9	本校では、いじめの実態把握や対応について適切に対応している。	4.2	◎	4.0	○																				
		自 15 関 10	本校では、全教職員が事故・災害などへの対応を熟知し、生徒の安全確保・事故の未然防止に努め、日頃から危機回避の行動を心がけている。	4.3	◎	3.9	△																				
		【記述意見等】 学校関係者 ・北朝鮮のミサイル発射の時の対応は、未知の経験だったので心配しましたが、猛吹雪での長時間の停電もこれから心配です。(寮) ・Jアラート発令時の対応をマニュアル化して欲しい。登校するか自宅待機なのか小中学校では、早々にお便りもらってききましたが、標茶高校ではどういう対応をされているのですか？緊急時対応マニュアルが必要では(地震、暴風雪など) ・体調不良等、何かあったとき、なるべく早めに連絡してください。 ・いじめへの対応については、評価する情報がないので、無回答にします。 ・生徒がいじめをうったえているのに、何もしない教員が多すぎる、だから何も代わらないのでしょうか。																									
【改善方策】 ・すべての教科・科目において生命の尊さに触れ、自己肯定感とともに他者を思う気持ちを醸成する。 ・日常的に身を守る事を念頭に置き、生活する。 ・危機管理の見直しと整備をすすめ、事があれば即応、実働できる体制を準備する。																											
【第3者評価】 自己評価 B 取組・改善方策 A																											
		<table border="1"> <caption>VI 設問15</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		評価項目	割合	A	39%	B	55%	C	6%	D	0%	<table border="1"> <caption>VI 設問10</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>				評価項目	割合	A	27%	B	35%	C	36%	D	2%
評価項目	割合																										
A	39%																										
B	55%																										
C	6%																										
D	0%																										
評価項目	割合																										
A	27%																										
B	35%																										
C	36%																										
D	2%																										

	年度当初目標	設問No	評価項目	自己評価		関係者評価	
				数値	評価	数値	評価
VII 連携	(1)各機関と連携を図りながら支援相談活動の推進と健全で充実した学校生活の創造 (2)地域との連携の下、校外での学習・事業の積極的実施	自 16 関 11	本校では、地域(人材・環境・課題等)と結びついた取組が積極的に行われている。	4.6	◎	4.3	◎
		自 17 関 12	本校では、PTAや同窓会など関係団体と積極的に関わり、充実した活動となるよう努めている。	4.2	○	4.3	◎
		自 18 関 13	本校では、学校の教育方針や教育活動などが学校通信やWebページ、報道等を通じて保護者や地域住民の方々に説明している。	4.3	○	4.2	○
		【記述意見等】 学校関係者 ・PTAなど色々なご案内をいただいておりますが、仕事柄参加することが難しく申し訳ありません。タイミングが合えば是非参加します。					
【改善方策】 ・地域行事への積極的な参加を通してお互いを知ることで連携意識を向上させる。 ・互いの訪問活動を励行し、顔を合わせての話をすることで意思の疎通を良好化する。 ・タイムリーな広報活動とPTA同士の親睦活動の活性化。 ・教職員自らが地域の一員として社会活動に参加するなどの意識を持つ。							
【第3者評価】 自己評価 A 取組・改善方策 B							



	年度当初目標	設問No	評価項目	自己評価		関係者評価											
				数値	記号	数値	記号										
Ⅷ 服 務	(1) 服務規律の保持に係る日常的意識の涵養 (2) 危機管理について教職員全員の意識の保持	自 19	本校では、全教職員が個人情報の管理や交通事故、セクハラなど、服務規律の保持について常に公務員としての意識を持って業務に当たっている。	4.4	◎	-	-										
		自 20	本校では、校内外の研修に参加し、その成果が共有されている。	4.2	○	-	-										
	【記述意見等】 特になし																
【改善方策】																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修教材の選定と研修の実施、また互いに諸注意を促す事ができるような雰囲気をつくる。</li> <li>・ 24時間公務員であることを各自が自覚し、行動を自制できるよう意識する。</li> <li>・ 服務やモラルについて内部チェックできる雰囲気を持った学校体質をつくる。</li> <li>・ 危機管理の見直し整備をすすめ、実働できる仕組みを準備する。</li> </ul>																	
【第三者評価】 自己評価 A 取組・改善方策 A																	
<table border="1"> <caption>Ⅷ設問19</caption> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>A</td><td>44%</td></tr> <tr><td>B</td><td>50%</td></tr> <tr><td>C</td><td>6%</td></tr> <tr><td>D</td><td>0%</td></tr> </table>								評価項目	割合	A	44%	B	50%	C	6%	D	0%
評価項目	割合																
A	44%																
B	50%																
C	6%																
D	0%																

	年度当初目標	設問No	評価項目	自己評価		関係者評価																																			
				数値	記号	数値	記号																																		
Ⅵ そ の 他	(1) 生徒理解に努め本校生徒の必要な資質向上	自 21	現在の標茶高校の生徒に必要なもの（こと）は総て何ですか。																																						
		【記述意見等】 学校関係者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ OBをもっと有効に利用しよう。</li> <li>・ 十分に生徒のために尽くしてもらっています。</li> <li>・ いつも子供たちのことをよく見て、考え、尽力していただきありがとうございます。</li> </ul>																																							
	【改善方策】																																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同窓会等の外郭団体との関係を身近なものとして、連携を図りたい。</li> <li>・ 生徒指導のスキル向上のため、研修、研究報告会などにより、外部で受講した研修成果を共有する場面を設ける。</li> </ul>																																									
【第三者評価】 自己評価 B 取組・改善方策 B																																									
<table border="1"> <caption>Ⅸ設問21</caption> <tr><th>項目</th><th>数値</th></tr> <tr><td>基礎学力</td><td>30.0</td></tr> <tr><td>体力</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>専門技術</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>就職</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>進学</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>安全意識</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>明るさ</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>感しき</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>礼儀</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>部活動</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>友人</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>ボランティア</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>国際意識</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>一般常識</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>資格取得</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>向上心</td><td>10.0</td></tr> </table>								項目	数値	基礎学力	30.0	体力	10.0	専門技術	10.0	就職	10.0	進学	10.0	安全意識	10.0	明るさ	10.0	感しき	10.0	礼儀	10.0	部活動	10.0	友人	10.0	ボランティア	10.0	国際意識	10.0	一般常識	10.0	資格取得	10.0	向上心	10.0
項目	数値																																								
基礎学力	30.0																																								
体力	10.0																																								
専門技術	10.0																																								
就職	10.0																																								
進学	10.0																																								
安全意識	10.0																																								
明るさ	10.0																																								
感しき	10.0																																								
礼儀	10.0																																								
部活動	10.0																																								
友人	10.0																																								
ボランティア	10.0																																								
国際意識	10.0																																								
一般常識	10.0																																								
資格取得	10.0																																								
向上心	10.0																																								

【第3者評価より】

- ・ 概ね適正な評価が行われている。
- ・ 全体としては教職員による生徒に対する諸指導はなされている。今後も校外活動、体験活動に期待する。特に部活動の役割はとて大きく、小中学校との連携の下に取り組んでもらいたい。
- ・ 学校としては地域に対する貢献度がとても高いと感じるが、教職員と地域との接点が年々希薄になっている。公務外の地域行事への個々の人材の参加等を期待したい。
- ・ 日頃の学習も大事であるが、今後も町に唯一の高校としての地域貢献や諸活動での活躍を大切にし、学校が楽しいと思う学習環境をつくって欲しい。
- ・ 地域性として農業に関連した産業人や後継者が1人でも多く育っていけるように教育課程で配慮してもらいたい。
- ・ 町の各家庭に学校の取組や活躍、進路状況の浸透が求められる。広報の一層の工夫が必要である。